

平成31・令和元年度公益財団法人しまね国際センター事業報告

○公益目的事業

I. 多文化共生地域づくり事業（公益1）

1. 外国人・地域住民インフォメーション事業

来日して間もない外国人住民は、風土や文化の違い、日本語でのコミュニケーションの問題など多くの困難や精神的不安を抱えている。そのため、外国人住民が地域で円滑に生活していくための様々な情報を提供した。

また、地域住民に対しては、外国人住民に対する理解と国籍や民族の違いを超えて外国人住民と共生する地域づくりの意義や大切さについて機関誌やイベントを通じて広報した。

(1) 外国人住民に対する生活ガイドの情報発信

「ホームページ」や「メールマガジン」により、生活に深く関係する情報を母国語で得られるよう多言語で提供した。

ア ホームページ 外国人住民のための生活情報、ふりがな機能付き日本語、多言語サイト（英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語）

イ メールマガジン

外国語メールマガジンの配信（週1回程度）

登録者数 436人（平成30年度 363人）

（英語157人、中国語75人、タガログ語38人、ポルトガル語127人、ベトナム語39人）

日本語メールマガジンの配信（月2回程度）

登録者数 60人（平成30年度 269人）

※配信システム移行に伴う新規登録者

主な情報提供内容：「外国人住民のための生活情報」、「県内イベント情報」、「防災・災害情報」等

(2) 多言語・多文化リソースの提供

多言語・多文化に関する各種の図書や冊子等の閲覧・貸出を行った。

(3) 機関誌等の発行

ア 「まいるすとんず」（2,000部）年1回 令和2年3月発行

多文化共生や国際理解の意義や大切さについて広報した。

配布先 県、市町村、県内公共施設、大学、賛助会員、ボランティア登録者、県内国際交流団体、県外地域国際化協会、在外県人会等

イ 「SIC応援団ニュース」 (250部) 隔月発行
センターの取り組みや事業の成果を報告した。
配布先 賛助会員、県、市町村等

(4) 国旗、民族衣装、地図等の貸出

外国国旗等の保有状況 (国連旗等含む。)

国 旗 94カ国 233枚
卓上旗 88カ国 196枚
民族衣装 9カ国 23着

貸出実績

| 図書 | 国旗 | 卓上旗 | 民族衣装 | 地図 |
|----|----|-----|------|----|
| 11 | 32 | 21 | 0 | 0 |

2. コミュニティ通訳ボランティア派遣事業

外国人住民が、行政機関や学校・病院等の公共機関を利用する場合、日本語の能力の問題から意思疎通が十分できず困難な状況が生じることがある。そのため、コミュニケーションが円滑に図られるよう、外国人住民・関係機関からの依頼に基づきコミュニティ通訳ボランティアを派遣した。また、ボランティア登録者の在住地域に偏りがあるため、スカイプによる遠隔地での通訳を実施した。

派遣件数 328件 (平成30年度 209件)

(英語263件 中国語54件 タガログ語0件 韓国語0件、
ポルトガル語11件 スペイン語0件)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日から派遣休止

派遣先 病院、学校、行政窓口、各種相談窓口等

ボランティア登録者数 63人 (後掲)

3. 留学生支援事業

県内の高等教育機関等に在籍する私費留学生に対して、県民から寄せられた寄付金に当財団の財源を加えて奨学金を支給し、学生生活を支援した。

また、来日直後や帰国前にアパート等宿舎が確保されていない留学生等のために、短期間の宿舎として本所の研修棟を提供している。

(1) しまね国際センター外国人留学生奨学金交付事業

対象者 県内の大学(大学院)、短大、高専4年次以上(専攻科含む)、
専修学校の専門課程等に在籍する私費留学生
(他の奨学金を受けていないこと)

奨学金 月額2万円（1年間交付）、年額24万円/人

交付者 9人（島根大学7人、松江総合ビジネスカレッジ1人、リハビリテーションカレッジ島根1人）

(2) 外国人留学生短期宿舍提供事業

平成31・令和元年度は利用者なし。

4. 多文化共生啓発事業

多文化共生の意義や必要性について出前研修を行ったほか、外国人住民の母国の文化の紹介などを通じて、外国人住民の積極的な社会参加を促すとともに、地域住民との交流や情報交換ができるアンテナサロンを実施した。

(1) 多文化共生出前研修

講師派遣件数 33件（平成30年度 29件）

派遣先 行政機関、大学、高校、小学校、ボランティア団体等

研修テーマ 多文化共生、「やさしい日本語」について、外国人の人権等

(2) アンテナサロンの開催

「子育て・教育」などをテーマに、外国人住民も気軽に参加し情報交換や異文化理解を深める機会を、開催地域の市町村や関係団体と協働して、県内2か所で提供した。

ア わくわく！世界のことばと文化

日時 令和元年7月9日（火）10:00-11:00

場所 浜田市子育て支援センターすくすく（浜田市）

参加者 79人（子ども49人、大人30人）

内容 留学生による中国・韓国の文化紹介、台湾・香港の外国語教育紹介

主催 島根県立大学国際交流センター、しまね国際センター

共催 浜田市

イ 外国人と日本人パパ・ママの交流会

日時 令和元年11月13日（水）10:30-11:30

場所 浜田市立周布公民館（浜田市）

参加者 10人（子ども5人、大人5人）

内容 フィリピンの手遊び、子育てに関する情報提供、交流

主催 しまね国際センター、浜田市

(3) 人権ユニバーサル事業（県受託事業）

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、県人権同和政策課が国から受託した「人権ユニバーサル事業」のうち、外国人の人権をテーマとした「多文化あそび場×まなび場」を当センターが再受託して開催した。

（共催 島根県、島根県人権啓発活動ネットワーク協議会）

日 時 令和元年11月17日（日）11:00-16:40

場 所 島根県民会館（松江市）

参加者 265人

内 容 ①参加型ワークショップ「ザ・ヨシトランド よしととおはなの
おめんをつくりましょ！」

②ステージ「みんな×よしと 紙芝居スペシャル仮装コンサート」

③展示「わたしのふるさとの おすすめ♪ ー外国人住民からの
一言メッセージー」

講師等 ①②よしと（紙芝居作家）

③県内外国人住民

5. 外国人住民日本語研修事業

(1) 技能実習生等日本語研修事業

技能実習生が、専門的技術を学びつつ地域住民と円滑に生活していくためには、一定程度の日本語能力が必要である。このため、技能実習生管理団体である商工会議所、商工会、組合等からの受託により「しまね国際研修館」で宿泊研修を実施し、日本語の習得を図った。

期 間 令和元年5月24日（金）～6月25日（火）

利用団体数等 1団体（中国6人）

(2) ALT日本語研修事業

小中学校等で英語等を教える外国語指導助手（ALT）について、外国語教育の指導効果の向上を図るため、日本語研修を実施した。

期 間 令和元年8月16日（金）～8月21日（水）

対象者 新規及び再任用ALT

参加者 28人（アメリカ19人、カナダ1人、ジャマイカ2人、南アフリカ3人、トリニダード・トバゴ2人、バルバトス1人）

内 容 3クラス（初級、初級上、中級）編成で、短期集中日本語授業のほか、日本文化体験（書道）や邦楽（箏）についての講義とその演奏の鑑賞をした。

6. ボランティア登録・活用事業

外国人住民が、地域で円滑に生活していくためには、日本語を教える日本語ボランティア、行政機関等と外国人住民の橋渡しをするコミュニティ通訳ボランティアなど生活に密着したボランティアが不可欠である。そのため、これらのボランティアを登録するとともに、有益な活用が図られるようボランティア活動の活性化と定着を図った。

| 登録区分（単位） | 登録者数 | 活動件数 |
|---------------------------|------|------|
| 語学ボランティア（人） | 205 | 8 |
| ホームステイホームビジット受入ボランティア（家庭） | 129 | 5 |
| 日本語ボランティア（人） | 87 | 0 |
| 日本語ボランティア（訪問）（人） | 75 | 46 |
| 多文化紹介ボランティア（人） | 29 | 0 |
| 子どもサポーター（人） | 120 | 2 |
| コミュニティ通訳ボランティア（人） | 63 | 328 |
| 災害時外国人サポーター（人） | 64 | ※ 2 |
| 合 計 | 772 | |

※島根県総合防災訓練における活動
（平成30年度登録者の合計 707）

7. 多文化共生推進事業

多言語による情報発信の強化、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語を含む12言語で対応できる外国人住民向けの相談業務、県内日本語教室の開設状況等を多言語で表記した日本語教室マップの作成配布、訪問型日本語学習支援の実施、災害サポーターの養成研修などの事業を実施した。

(1) 多言語生活支援情報ポータルサイト等による情報発信の強化（県受託事業）

【拡充】

ベトナム語ホームページの作成、生活情報の動画コンテンツの作成を行った。

ア ベトナム語ページの作成

内 容 お知らせ、外国人支援情報、災害時情報、ボランティア活動など

イ 生活情報等の動画コンテンツの作成

名 称 「外国人住民のための島根生活お助け情報」

内 容 生活のルールとマナー編（5:26）

日本語を学ぶ編（3:06）

サポート情報編（3:50）

言 語 日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

その他 しまね国際センターホームページのほか、Youtube、Instagramでも情報発信

(2) 外国人住民への相談業務（県受託事業等）【拡充】

多言語による各種の相談に対応し、必要に応じて三者通話システムも利用しながら専門機関の紹介等を行ったほか、困難事例についてはケースワークを行い、相談から解決まで継続かつ一貫して支援した。また、出雲市等外国人住民が急速に増えている地域からの依頼に応じた出前相談や、県消費者センターと連携した消費生活相談も実施した。

ア 定期相談及びワンストップ型生活相談窓口体制の整備

従来の相談窓口を拡充し、外国人住民の生活に関する様々な情報提供と相談に応じるワンストップ型の相談窓口を6月から開設した。

対応言語 センター相談員による対応（5言語）

（英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語）

多言語コールセンターによる対応（12言語）

（英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語、韓国語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、スペイン語、ミャンマー語、クメール語）

方 法 電話（三者通話対応）・来所・メール等による

相談者数 714人（東部671人、西部43人）

うちコールセンター利用者数 62人

件 数 916件（東部858件、西部58件）※相談種別延べ件数

相談内容 ケースワーク例

技能実習生の解雇、離婚等

イ 出前相談

距離的な理由等で定期相談を利用できない外国人住民等の相談に応じるため、依頼に基づき出前相談を実施した。

対応言語 ポルトガル語

場所及び回数 出雲市役所6回

相談件数 18件（ポルトガル語）

相談内容 在留手続、社会保険、起業、税金、労働災害、養子縁組など

ウ 消費生活相談

日本の法制度や商慣習等に不慣れな外国人住民が抱える消費者トラブルの解決を図るため、県消費者センターと連携した消費生活相談を実施した。

対応言語 英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

方 法 電話・来所・メール等による

相談件数 27件

相談内容 携帯電話の契約、インターネットの契約、Wi-Fiの契約など

(3) 外国人相談体制充実事業（県受託事業）【拡充】

複雑化・深刻化する外国人相談事例に対応するため島根県知事の委嘱により配置された「島根県外国人地域サポーター」が、外国人住民と行政等の橋渡し役としての活動を的確に行えるよう、連絡会議及び研修の開催、活動に対する支援等を実施した。

ア 連絡会議及び研修の開催

(ア) 連絡会議

出席者 外国人地域サポーター、市担当課職員、県文化国際課・雇用政策課及びしまね国際センター職員

第1回

日時 令和元年6月27日（木）13:30-15:30

会場 島根県民会館（松江市）

内容 平成31/令和元年度の活動について、外国人地域サポーターの活動について、情報交換・意見交換、しまね多文化共生総合相談ワンストップセンターについて

第2回

日時 令和元年10月3日（木）13:30-15:30

会場 江津市役所（江津市）

内容 島根県外国人住民実態調査等の集計結果の概要について、日本語交流クラブ「GOTO☆ワンハート」の活動について、行政相談について、情報交換・意見交換

第3回

日時 令和2年1月9日（木）13:00-14:30

会場 島根県民会館（松江市）

内容 事例報告「境港市における行政・企業・地域の連携による外国人技能実習生受入れの取組について」、日本語学習支援体制の整備について、情報応答・意見交換

第4回

日時 令和2年3月27日（金）14:40-16:00

会場 安来市役所（安来市）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

(イ) 研修

公開講座～ベトナムを知ろう～

日時 令和2年3月27日（金）13:10-14:30

会場 安来市役所（安来市）

講師 在日ベトナム大使館商務参事 タドクミン氏

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

イ 外国人地域サポーターの活動に対する支援

サポーター数 13個人・団体

活動自治体 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、
江津市、雲南市

委嘱期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

活動実績 395件

活動内容 外国人住民への情報提供、外国人住民の現状・ニーズ把握、
相談窓口の紹介、同行支援等

支援内容 関係機関との連絡調整、事業広報活動等

(4) 日本語学習支援（県受託事業）【拡充】

ア 日本語教室運営支援

外国人住民の日本語学習の場となるだけでなく、多文化共生社会における
地域の拠点となりうる日本語教室の運営活性化に向けた活動を支援した。

(ア) 教材・運営方法等の情報提供

(イ) 日本語教室マップの作成

言語 日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語
部数 3,000部（6か国語併記）

配布先 市町村外国人住民窓口、出入国在留管理局等

イ 訪問型日本語学習支援

急増する外国人住民の日本語学習ニーズに対応するため、2種類の訪問型
日本語学習支援を行った。

(ア) ボランティア養成講座の実施

a. 入門講座（東部会場）

日時 ①平成31年4月20日（土）、②令和31年4月21日（日）
③令和元年5月11日（土）、④令和元年5月12日（日）
いずれも、13:30-16:30

場所 島根大学医学部（出雲市）

参加者 42人

内容 講義「島根で暮らす外国人の様々な形」
ワークショップ「国際理解・異文化間コミュニケーション」
実習「やさしい日本語」「オリジナル教材を使った教え方」

講師 ①芝由紀子（うんなんグローバルセンター）

①岩田和美（島根県JICAデスク）

②③佐藤智照（島根大学外国語教育センター）

③仙田武司（しまね国際センター）

④芝由紀子（うんなんグローバルセンター）

④岩田和美（島根県JICAデスク）

b. 入門講座（西部会場）

- 日 時 ①令和元年9月21日(土)、②令和元年9月28日(土)
③令和元年9月29日(日)、④令和元年10月5日(土)
いずれも、13:30-16:30
- 場 所 島根県益田合同庁舎（益田市）
- 参加者 16人
- 内 容 講義「島根で暮らす外国人の様々な形」
ワークショップ「国際理解・異文化間コミュニケーション」
実習「やさしい日本語」「オリジナル教材を使った教え方」
- 講 師 ①大庭謙二（益田日本語ボランティアグループともがき）
①岩田和美（島根県JICAデスク）
②仙田武司（しまね国際センター）
②③佐藤智照（島根大学外国語教育センター）
④芝由紀子（うんなんグローバルセンター）
④岩田和美（しまね国際センター）

c. スキルアップセミナー（東部会場）

- 日 時 ①令和2年1月31日(金)、②令和2年2月3日(月)
いずれも、18:30-20:30
- 場 所 島根県民会館（松江市）
- 参加者 18人
- 内 容 『いっしょに にほんご しまねけん』の特徴と内容
クラスで教える際のポイント
クラス形式で教えてみよう（1日目を踏まえての実践）
- 講 師 ①佐藤智照（島根大学外国語教育センター）
②岩田和美（しまね国際センター）

d. スキルアップセミナー（西部会場）

- 日 時 ①令和2年2月21日(金)18:30-20:20
②令和2年2月22日(土)10:00-12:00
- 場 所 浜田市立中央図書館（浜田市）
- 参加者 9人
- 内 容 『いっしょに にほんご しまねけん』の特徴と内容
クラスで教える際のポイント
クラス形式で教えてみよう（1日目を踏まえての実践）
- 講 師 ①佐藤智照（島根大学外国語教育センター）
②岩田和美（しまね国際センター）

(5) 災害時外国人サポーター養成研修（県受託事業）

外国人住民の災害に対する意識の向上、災害時に外国人住民をサポートするボランティアの確保・増員を図るため、自治体と連携しながら開催した。また、防災ハンドブックに最新の情報を反映させるため、改訂を行うとともに、ベトナム語版を追加した。

ア 災害時外国人サポーター養成研修

(ア) 東部会場

日 時 令和元年12月8日(日) 10:00-15:00
場 所 安来市役所防災研修棟（安来市）
参加者 10人
内 容 講義・演習① 「災害時に外国人が困ることは何か、
外国人への効果的な情報提供の方法」
非常食試食交流会（非常食試食、意見交換）
演習② 情報翻訳訓練
演習③ 避難所巡回訓練
講 師 ①②目次敦美（多文化共生マネージャー）
③西田祐子（多文化共生マネージャー）
主 催 島根県、しまね国際センター、安来市

(イ) 西部会場

日 時 令和元年11月10日(日) 10:00-15:00
場 所 大田市消防本部（大田市）
参加者 20人
内 容 講義・演習① 「災害時に外国人が困ることは何か、
外国人への効果的な情報提供の方法」
非常食試食交流会（非常食試食、意見交換）
演習② 情報翻訳訓練
演習③ 避難所巡回訓練
講 師 ①②目次敦美（多文化共生マネージャー）
③西田祐子（多文化共生マネージャー）
主 催 島根県、しまね国際センター、大田市

イ 防災ハンドブック改訂【新規】

言 語 やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、
ベトナム語
部 数 6,100部（やさしい日本語1,000部、英語700部、中国語700部、
タガログ語700部、ポルトガル語2,000部、ベトナム語1,000部）
内 容 緊急のときの日本語と連絡の方法、日本・島根県について、自然
災害、災害に備えて、災害・防災の日本語、役に立つwebサイト
やアプリ、防災メモ、安否（無事かどうか）を確認する方法

(6) 外国人住民向け多文化共生イベント（県受託事業）【新規】

外国人住民が地域の文化や風習を知ることがきっかけに、外国人住民と日本人住民が交流し、相互理解を深め、「多文化共生」意識の醸成を図り、外国人住民が地域での生活に溶け込めるきっかけとなるイベントを開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

ア 東部地域 ※開催中止

名 称 「よさこいをおどって ともだちの輪を 広げよう」
日 時 令和2年3月14日（土）10:00-12:00
場 所 アクティーひかわ（出雲市）
内 容 デモンストレーション、自己紹介と練習、グループ発表、全員で踊り
定 員 100人
主 催 島根県、しまね国際センター、出雲市
協 力 斐川よさこい祭実行委員会

イ 西部地域 ※開催中止

名 称 ①「外国人住民のための石見神楽教室」
②押し寿司（もっそう）作り
日 時 ①令和2年3月1日（日）13:00-16:00
② // 10:00-12:00
場 所 ①パレットごうつ（江津市）
②渡津地域コミュニティ交流センター（江津市）
内 容 ①石見神楽を知る、石見神楽を見る、石見神楽を体験する
②押し寿司作りを体験する
定 員 ①100人 ②20人
主 催 島根県、しまね国際センター、江津市
協 力 波子社中、島根県西部県民センター、日本語交流クラブ「GOTO
☆ワンハート」

8. ボランティア研修事業

外国人住民の生活場面における広範な課題に対応していくためには、行政だけでは困難であり、広く一般住民のボランティア活動を必要としている。そのため、外国人住民を支援するボランティアを継続して養成するとともに、スキルアップを図り、量的拡大と質的向上を図った。

(1) コミュニティ通訳勉強会の開催

例年開催しているコミュニティ通訳ボランティア登録者向けの勉強会に加え、増大するコミュニティ通訳ボランティアの利用ニーズに適切に応えるため、ボランティアの養成講座を開催した。

ア 養成講座 (全2回)

- 日 時 ①令和2年2月15日(土) 9:30-16:30
②令和2年2月16日(日) 9:30-16:30
- 場 所 島根大学医学部 (出雲市)
- 対象者 コミュニティ通訳ボランティア登録者および日本語を含む2つ以上の言語で日常会話以上の語学力があり、医療や教育分野での通訳ボランティア活動に関心のある者
- 参加者 34人 (コミュニティ通訳17人、登録希望者17人)
- 内 容 ①講義：島根県の外国人住民の状況、医療通訳の概要・倫理・多文化知識・対人援助技術、身体組織の知識、病気の知識・通訳言語ペアワーク、医療制度・治療費、病院での通訳業務開始場面トレーニング、通訳技術の基礎
②演習：言語別演習 (医療分野)
- 講 師 ①西村明夫 (RASC コミュニティ通訳支援センター(Cots))
②岩本弥生、アビーフリー、矢野花織 (Cots)
②オリバー・マーシャル (島根県文化国際課国際交流員)
②李海冰 (しまね国際センター)
- 後 援 島根大学医学部

イ 勉強会

- 日 時 令和2年1月22日(水) 14:00-15:30
- 会 場 しまね国際センター
- 参加者 8人
- 内 容 ロールプレイ (母子保健・乳幼児健診)
- 講 師 オリバー・マーシャル (島根県文化国際課国際交流員)
李海冰 (しまね国際センター)

ウ 指定講座

第1回

- 日 時 令和元年11月10日(日) 10:00-15:00
- 場 所 大田市消防本部 (大田市)
- 参加者 2人
- 内 容 災害時外国人サポーター養成研修 (西部)

第2回

- 日 時 令和元年11月21日(木) 14:00-16:00
- 場 所 島根県民会館 (松江市)
- 参加者 5人
- 内 容 ドメスティック・バイオレンスに関する県民公開講座

第3回

- 日 時 令和元年12月8日(日) 10:00-15:00
- 場 所 安来市役所防災研修棟 (安来市)
- 参加者 3人
- 内 容 災害時外国人サポーター養成研修 (東部)

(2) 日本語ボランティア研修の開催

外国人の日本語学習を支援する日本語ボランティアを対象に研修会を開催した。

ア フォローアップ研修 ※平成30年度災害により未実施となったもの

時 期 令和元年5月19日(日) 13:30-16:30
開催地 大田市役所(大田市)
対象者 活動中の日本語ボランティア
参加者 17人
内 容 講義及び演習(「生活者としての外国人」に必要な日本語とは?
教室と生活を結びつけるポイント、教室活動の組み立て方)
講 師 佐藤智照(島根大学外国語教育センター)

イ 日本語ボランティア研修会

時 期 令和元年5月25日(土) 13:30-16:30
開催地 隠岐島文化会館(隠岐の島町)
参加者 6人
対象者 日本語ボランティアに関心のある方、活動中の日本語ボラン
ティア
内 容 講義及び演習(「やさしい日本語」について、日本語学習支援
のポイント、「生活者としての外国人」に必要な日本語とは?)
講 師 佐藤智照(島根大学外国語教育センター)

(3) 子どもサポーター研修の開催

最近ニーズが増大、多様化しつつある外国にルーツを持つ子どもに対する日本語学習支援を推進するため、支援者不足が懸念される地域で養成講座を行った。

日 時 ①令和元年7月6日(土) 13:00-16:30
②令和元年7月20日(土) 13:00-16:30

場 所 島根大学医学部(出雲市)

対象者 外国にルーツをもつ子どもの日本語指導に関心のある方など

参加者 41人

内 容 ①島根県の外国人住民・外国にルーツをもつ子どもの状況、出雲市
における外国にルーツをもつ子どもたちの状況、外国にルーツを
もつ子どもたちのメンタルヘルス
②日本語指導・学習支援、地域における子どもへの支援の実践方法

講 師 ①児玉佐知子(出雲市教育委員会学校教育課)、瀧尻明子(島根大
学医学部看護学科)
②河原由実(ボランティアグループ MANABIYA)、堀西 雅亮(NPO
法人エスペランサ)

後 援 島根大学国際交流センター、島根県教育委員会、出雲市教育委員会

Ⅱ. 国際交流・協力事業（公益2）

1. プログラムコーディネート事業（県受託事業）

県及び市町村が招致する外国人青年について、受入や配置に係るコーディネート、県内での研修プログラムの企画・運営、カウンセリングを行った。さらに、県国際交流員については、業務の調整も行った。

また、内閣府の青年国際交流事業、独立行政法人国際協力機構、民間団体等の国際交流や国際協力に関して連携・調整・支援等を行った。

2. 北東アジア交流の翼 in しまね（県受託事業）

北東アジア地域の青年と県内青年との交流プログラムを実施することにより、ネットワークづくりと人材育成を行った。

ア 事前研修（全3回）

日 時 ①令和元年6月8日（土）11:00-15:00
②令和元年7月7日（日）11:00-15:00
③令和元年8月1日（木）13:30-16:30

場 所 しまね国際センター

参加者 日本青年5人

内 容 ①自己紹介、事業説明、役割分担、意見交換検討等
②各プログラム内容検討、意見交換検討等
③各プログラム内容検討、スケジュール確認等

イ 交流プログラム

期 間 令和元年8月2日（金）～8月7日（水）（5泊6日）
うちホームステイ8月3日（土）昼～5日（月）朝（2泊3日）

開催地 松江市、出雲市

参加者 24人（韓国7人、中国8人、ロシア4人、日本5人）

内 容 開会セレモニー、交流活動、歓迎交流会、テーマに関する視察・意見交換会、文化体験、お別れ夕食会など
※ホームステイ（外国青年のみ）
協力家庭 19家庭（松江市、出雲市、安来市）

ウ 事後研修

日 時 令和元年8月7日（水）10:20-12:10

場 所 しまね国際センター

参加者 日本青年 5人

内 容 プログラムに参加しての感想、振り返り、まとめ
将来への抱負ほか

エ 報告会

日 時 令和元年10月26日(土) 14:00-16:00
場 所 島根県民会館(松江市)
参加者 日本青年5人(欠席者2人分代読対応)ほか
内 容 島根県次世代人材育成のための青年派遣・交流事業(交流の翼
中国プログラム/寧夏、草の根交流支援・韓国理解講座)参加
者との合同報告会
各事業説明、体験発表、質疑応答、自由交流

3. 世界とつながる島根づくり助成事業

地域が国際化するためには、地域の国際交流の担い手である民間団体や住民が積極的に国際交流に関与することが必要である。そのため、住民主体の国際交流・協力や日本語教室など多文化共生に資する事業に対し助成した。

助成額 1事業当たり上限20万円
補助率 1/2(日本語教育事業は2/3)
申請件数 10団体 (平成30年度14団体)
助成件数 7団体(不採択1団体・辞退2団体) (平成30年度12団体)
助成額 674千円

4. 海外移住者等支援事業

島根県出身者の南米移住者は、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ペルー等の移住先で石見神楽など本県の伝統の紹介や、日系人子弟への日本語の教育などの活動を展開してきており、これらの活動に助成した。また、南米に居住する移住者の精神的支えとなり、生まれ育った母県の情報を提供したり、県内在住の日系ブラジル人との交流を行っている海外移住家族会の活動を支援した。

(1) 海外移住者支援事業

南米の移住者の文化活動、教育指導・援助活動等に、県人会を通じて必要な経費の一部を助成するとともに各種情報の提供を行った。

南米移住者県人会への助成額

| | | | |
|--------|------|--------|-------|
| ブラジル | 50万円 | (250世帯 | 650人) |
| アルゼンチン | 5万円 | (31世帯 | 105人) |
| ペルー | 5万円 | (7世帯 | 42人) |

(2) 島根県海外移住家族会支援事業

県と連携を図り、島根県海外移住家族会の事業運営を支援した。

家族会 正会員 64人

特別会員 5市4町、8団体、5個人 計22(令和2年3月末現在)

5. 国際交流団体等連携協力事業

民間団体がより活動しやすい環境をつくるため、国際交流団体・市町村等連携会議を開催し、意見交換を行うとともに、連携・協働事業の促進を図った。また、優れた国際交流・協力活動や日本語教室等のきめ細かな外国人住民の支援活動を行っている団体や個人を顕彰し、民間団体、地域住民の国際交流・協力や外国人住民の支援活動等を奨励した。

(1) 国際交流団体・市町村等連携会議開催事業

国際化推進・多文化共生活動を行う団体等と市町村が一堂に会し、意見交換する場を設けた。(県との共催事業)

- 日 時 ①浜田会場 令和元年10月17日(木) 13:30-15:30
②松江会場 令和元年10月23日(水) 13:30-15:30
場 所 ①島根県浜田合同庁舎(浜田市)
②島根県民会館(松江市)
参加者 ①16人 ②31人

(2) 国際交流団体等連携・協力事業

ア サンパウロ州カサパーバ市における環境教育推進事業(JICA受託事業)

サンパウロ州カサパーバ市と連携し、市の環境教育の実践力を高め、児童や市民の環境保全への理解や取り組みの向上を図るため、研修員の受け入れ、専門家派遣、ブラジル及び日本での事業広報を行った。

- ※ 全体事業期間 平成29(2017)年8月～令和2(2020)年6月
関 係 者 島根及びカサパーバ市プロジェクトチーム

(ア) 専門家の派遣

第1回

期 間 平成31年4月23日(火)～令和元年5月2日(木) 6泊10日

派遣者数 5人

- 内 容 ①協議・モニタリング・指導(カリキュラムの改善、環境教育授業の普及・向上、環境教育センターの機能向上、環境教育プログラムの開発、プロジェクト目標、推進体制、今後の事業展開、次回受入研修・訪伯等)
②視察(モデル州立高校、ゴミ処理施設)
③環境教育研修会開催
参加者 約20人(市立小学校校長及び教育局職員)
④環境教育プログラムの実践(廃油せっけんづくり)
参加者 約15人
⑤「環境教育国際セミナー」開催(於 ジャパン・ハウス)
参加者 約90人

第2回

期 間 令和2年2月9日(日)～2月17日(月) 5泊9日

派遣者数 2人

- 内 容 ①協議・モニタリング（環境学習カリキュラムの評価、環境教育授業の普及・向上、環境教育プログラムの実践・改善、環境教育センターの機能向上、推進体制、プロジェクト終了後の継続等）
②全校での環境保全活動の調査（視察及び意見交換 2校）
③市会議員・環境教育委員会面談（環境教育推進法制定への協力依頼）
④市民啓発イベントの協議

(イ) 研修員の受け入れ

期 間 令和元年9月24日（火）～10月3日（木） 9泊10日

研修員数 5人（カサパーバ市教育局・環境局職員、サンパウロ州教育局職員、環境NGOコーディネーター）

- 内 容 ①プロジェクト協議・意見交換（環境学習カリキュラム策定、環境教育推進法、環境教育プログラム策定）
②学校視察（出雲市立北陽小学校・島根県立出雲農林高校）
③環境学習プログラム体験（ふるさと森林公園）
④県内視察（川向リサイクルプラザ・くりんぴーす、忌部浄水場・佐山水源地、出雲環境センター等）
⑤研修報告会（於 サンラポーむらくも）
参加者 約40人

(ウ) 親等に対する「環境教育プログラム」初版完成

- ・6つのプログラムの元に12ワーク（活動）が開発された。
- ・2019年度に延べ5ワークが実施され、受講者数は105人となった。（目標値100人以上）

イ 島根県立大学との連携・協力事業（県立大学受託事業）

島根県立大学が実施する短期日本語・日本文化研修プログラムの一部を実施した。

期 間 令和元年7月9日（火）～17日（水）

場 所 しまね国際センター

参加者 15人（韓国4人、中国10人、台湾1人）

内 容 日本語・日本文化体験（「松江城」「小泉八雲作品」「折り紙」など）、島根県国際交流員との懇談会

協 力 しまね日本語支援協会、島根県

ウ 「やさしい日本語」活用講座開催事業（出雲市生涯現役促進協議会受託事業）

高齢者の社会参加の促進及び就労機会の確保につながるよう、出雲市内においても様々な場面で求められる外国人とのコミュニケーションに役立つ「やさしい日本語」を学ぶ講座を開催した。

- 日 時 第 1 期 ①令和元年 11 月 13 日 (水)
 ②令和元年 11 月 20 日 (水)
 ③令和元年 11 月 27 日 (水)
 いずれも 13:00-16:00
 第 2 期 ①令和 2 年 2 月 14 日 (金)
 ②令和 2 年 2 月 17 日 (月)
 ③令和 2 年 2 月 20 日 (木)
 いずれも 13:00-16:00
- 場 所 サン・アビリティーズいづも (出雲市)
- 参加者 第 1 期 15 人
 第 2 期 10 人
- 内 容 ①やさしい日本語講座、日本語の概要
 ②場面別 (観光・防災・職場) 「やさしい日本語」の使い方
 ③外国人とのコミュニケーション実習
- 講 師 ①佐藤智照 (島根大学外国語教育センター)
 ①②仙田武司 (しまね国際センター)
 ③芝由紀子 (うんなんグローバルセンター)

(3) 功労者顕彰事業

島根県の国際化に尽力し、また当センター事業に多大な貢献をするなど、その功績が特に顕著な個人・団体を顕彰し、設立30周年記念講演会に先立ち表彰式を行った。

表彰状 (敬称略) 2 団体 4 個人

- ・いづも長浜 J K 委員会
- ・出雲日本語ネットワーク
- ・今岡 祐子
- ・齋藤 博子
- ・庄原 玉枝
- ・高木 峰子

感謝状 (敬称略) 1 団体

- ・しまね日本語支援協会

6. 海外技術研修員等受入事業 (県受託事業)

島根県が交流を進めている地域及びその他の開発途上国から中堅技術者を受け入れ、それらの国が必要とする技術の習得及び人材の育成に寄与する事業だが、県からの受託はなかった。

○法人会計

1. 会議の開催

(1) 理事会・評議員会

会 場 しまね国際センター

ア 理事会

第1回 平成31年4月26日（金）決議の省略

第2回 令和元年6月6日（木）14:00-16:00（通常理事会）

第3回 令和元年6月28日（金）決議の省略

第4回 令和2年3月18日（水）14:00-16:00（通常理事会）

イ 評議員会

第1回 令和元年5月20日（月）決議の省略

第2回 令和元年6月21日（金）10:00-12:00（定時評議員会）

2. 会議、研修会への参加

(1) 地域国際化協会連絡協議会総会

日 時 令和元年5月22日（水）13:30-16:30

会 場 ホテルモントレ半蔵門（東京都千代田区）

出席者 常務理事 福原保

内 容 総会・交流会

(2) 中国・四国地区地域国際化協会連絡会議

日 時 令和元年12月6日（金）13:30-16:30

会 場 高知新聞放送会館（高知市）

出席者 常務理事 高橋泰幸、多文化共生推進課長 仙田武司

内 容 提出議題についての意見交換

研修会「外国人相談窓口の運営」

3. 設立30周年記念事業

(1) 記念講演会

日 時 令和元年11月2日（土）15:40-16:30

場 所 松江テルサ（松江市）

講 師 SIC 理事長 有馬毅一郎

演 題 「温故知新 ～国際化新時代に寄せて～」

来場者 68人

(2) オープンハウス

日 時 令和元年 11 月 3 日 (日)

場 所 しまね国際センター

参加者 53 人 (子ども含む)

内 容 遊びコーナー (国旗のマグネットづくり、世界地図のパズル、世界のイラストのぬり絵、アフリカ布のしおりづくり、中国の切り絵、アジアの羽根けり、フィリピンのドミノ、ベトナムのおはじきなど)
パネル展示 (外国人住民の皆さんからのメッセージ、事業紹介)

平成 31・令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 2 年 6 月

公益財団法人 しまね国際センター